

エコアクション21

2018年度 環境経営レポート

(対象期間:2018年4月～2019年3月)

吉岡興業株式会社

発行日：2019年5月21日

改定日：2019年7月11日

環境経営方針

【 基本理念 】

益々深刻化する地球温暖化への対応や有限である資源の有効利用は、人類共通の重要課題です。

吉岡興業株式会社は、生産技術代行商社として日本のものづくりに携わっており、工作機械・工作機械周辺機器・切削工具・油圧機器・空圧機器・メカトロ機器の販売及び、工場施設工事・FAシステム設計製作工事・機械加工の受託、中古機械の買取・販売を行っています。また地域密着型からHPやソリューションサイトを利用した集客で商圏を拡大し、物販から「商談の中で価格が決まっていくエンジニアリング営業」への転換を行っています。

私たちは、「私たちの宇宙の中心はお客様です」という考えに基づき、企業の社会的存在価値を高め続けるために、地球環境保全への取り組みを、当社においても重要課題に位置づけました。

私たちは企業活動を通じて、環境負荷の低減や環境に貢献する活動を実施し、全従業員一体となって自主的・積極的に、地球環境保全への取り組みを進めて参ります。

【 行動指針 】

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①. 二酸化炭素の排出量の削減のため、電力・自動車燃料の消費を削減する。
- ②. 廃棄物排出量削減のため、コピー用紙・ダンボール等の使用量削減やリサイクルを推進する。
- ③. 排水量削減のため、上水の使用量の節減をする。
- ④. 事務用品等のグリーン購入を推進する。
- ⑤. 環境に配慮した製品の販売・提供に努める。
- ⑥. 社屋周辺の清掃活動に取り組む。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 全従業員に対してこの環境経営方針を周知徹底させるとともに、環境問題意識の向上のため、啓発と教育に努めます。

3. 環境関連法規制や当社が上記で約束したことを遵守します。

制定日：2010年 4月 1日

改定日：2018年6月11日

吉岡興業株式会社
代表取締役

吉岡 洋明

□環境経営目標

項目	単位	2014年度 実績	2018年度 △4%	2019年度 △5%	2020年度 △6%
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	86,147	82,701	81,840	80,978
電力	kWh	45,587	43,764	43,308	42,852
ガソリン	L	26,637	25,572	25,305	25,039
軽油	L	623	598	592	586
廃棄物排出量	kg	4,875	4,680	4,631	4,583
一般廃棄物	kg	4,875	4,680	4,631	4,583
産業廃棄物	kg	—	—	—	—
総排水量	m ³	173	166	164	163

2016年度関西電力(株):0.493Kg-CO₂/kwh、四国電力(株):0.529Kg-CO₂/kwh

化学物質(PRTR法対応)は微量取扱により表記を省略しています。

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2016年度	2017年度	2018年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	76,704	70,744	60,968
電力	kWh	41,851	42,624	41,698
ガソリン	L	23,550	20,497	16,557
軽油	L	469	561	681
廃棄物排出量	kg	4,225	3,695	4,065
一般廃棄物	kg	4,225	3,695	4,065
産業廃棄物	kg	—	—	—
総排水量	m ³	130	140	165

2016年度関西電力(株):0.493Kg-CO₂/kwh、四国電力(株):0.529Kg-CO₂/kwh

化学物質(PRTR法対応)は微量取扱により表記を省略しています。

□環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境法連規制は、次の通りである。

法規制等の名称	遵守すべき要求事項	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物の適正処理	遵守
自動車NOx・PM法	ディーゼル車・ガソリン車の自動車排出窒素酸化物等の抑制	遵守
消防法	火災報知機の設置と定期点検	遵守
	消火器の設置と定期点検	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止	遵守
	廃棄時の適切な処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去5年間ありませんでした。